

# MMO新聞

発行  
マイクロメイト岡山(株)  
TEL 086-231-0900  
FAX 086-226-4084  
URL <http://www.mmo-co.com/>  
営業本部  
〒700-0932  
岡山市北区奥田本町 22-4

## 交通安全全体験車 「サイトくん」をリニューアル!

一般社団法人 埼玉県トラック協会様

埼玉県トラック協会様の「サイトくん」のリニューアルを行いました。

### サイトくんとは

サイトくんは、学習体験型機器を搭載し、子供から大人まで幅広い年齢を対象に交通事故防止に向けて交通安全活動を行っている車両です。



↑リニューアル後のサイトくん  
車両に搭載された17種類の機器で交通安全について学ぶことができます。

車両には、天然ガスを燃料とするCNGトラックを採用しているため環境に優しく、低騒音・低振動で人にも優しい車両となっています。

### 安全への取り組み

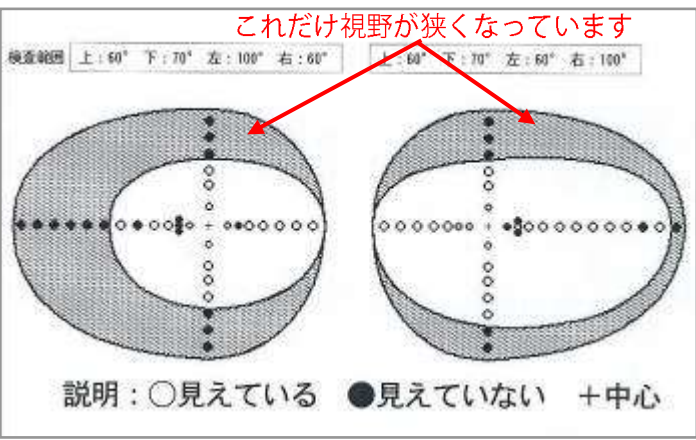
埼玉県トラック協会様では、交通安全指導車を使った速度違反・

他に、イベント向けに短時間で体験可能なコース、足元のパネルを踏んで操作することで、足を使った検査にも対応できるコースもあります。



### 視野診断

従来は両眼での簡易な検査のみでしたが、片眼でより精密な検査もできるようになりました。検査終了後にはわかりやすい結果表が発行されますので、自分が見えていなかった箇所をチェックできます。



### リニューアル

サイトくんが平成18年に導入されて以来、延べ10万人以上の方が体験され、年間の平均出動回数は約100回以上となっています。

サイトくん導入からおよそ8年が経過しました。今後もより多くの方に交通安全教育機器の体験をして頂き、交通事故の防止に努めるために今回、車両・搭載機器のリニューアルを実施することになりました。ここでは、リニューアルを行った機器の一部をご紹介します。

### 運転・歩行能力診断

ドライバー・チェック&トレーナー

### 「点灯くん」

①子供向け ②一般向け ③シニア向け それぞれに合った検査ができます。検査終了後には、子供向けは金・銀・銅の3段階、大人は5段階で評価された結果表を発行できます。

### お客様の導入事例

#### 校舎の一部建て替えにあわせ 運転操作検査器を増設

出雲自動車学校様

この度、島根県の出雲自動車学校様の一部校舎の建て替えをされました。



校舎は木造で「神話の国出雲」らしい素敵な外観で、広くて明るい教室、そしてカフェのような休憩室になりました。



そしてこの建て替えを機に、これから受講者が増えていく高齢者講習に備え、今までお使いいただいていた模擬運転装置(DS-3000H)5台に運転操作検査器

(DS-30)を1台増設し、6台体制にされました。



### 10年以上お使い頂いている装置の入替が進んでいます!

高齢者講習がスタートしたのが平成10年、そして自動車学校で二種教習がスタートしたのが平成14年、その当時導入していただいた装置も老朽化しており入替をしていただくケースも多くなりました。



- 導入事例
- 可部自動車学校様 (模擬運転装置)
  - 松江城北自動車教習所様 (通性検査器)
  - 鳥取県中央自動車学校様 (DS-3000H)
  - 浜田自動車教習所様 (四輪シミュレータ)
  - 鳥取県自動車学校様 (四輪シミュレータ)

### 高齢者の事故防止に

#### 「わたりジョーズくん」

高齢者の交通事故の中でも、道路を横断している時に事故に遭ってしまう。

ケースが後を絶ちません。

そのため、交通事故の防止には歩行者(高齢歩行者)の交通事故への対策が重要であると言えます。

その対策の一つとして「わたりジョーズくん」の導入も各地で進んでいます。



導入事例  
岩手県警察本部様 福井県警察本部様

### 広島県交通安全協会様

#### 「交通安全クイズ」タッチくん

先日、広島県交通安全協会様へタッチくんを納品し、子どもたちに好評のお言葉を頂きました。

タッチくんは、〇×クイズ・神経衰弱・イラスト探しの3種類のクイズで、交通安全のために大切なルール・マナーを楽しく学ぶことができます。イベント・体験施設等に最適な機器です。



# 特集 動体認知とは？

## 認知機能の弱点がわかる

前号の特集記事にて、運転中に携帯電話を使用することの危険性を検証する実験として、動体認知診断を使用した実験をご紹介しました。

「動体視力」という言葉はよく聞きますが、「動体認知」という言葉はあまり聞き慣れない、という方もいらっしゃると思います。今号では、動体視力と動体認知の違い、「動体認知」を測定することで一体何が分かるのか？ということについて特集します。

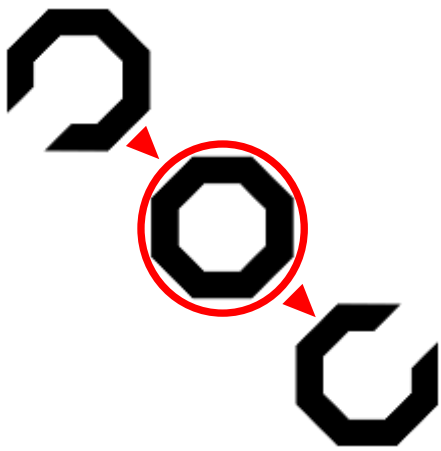
### 動体視力と動体認知の違い

動体視力とは「動いている物を視線を外さずに持続して識別する能力」である。

一方、動体認知とは「動きや変化に対する人間の覚醒、注意あるいは鋭敏性などに基づく機能※1」であると言われている。

つまり、動体認知とは、動体視力の測定から分かる動いている指標を識別する能力とは異なり、不規則に出現したり変化したりする指標に対し素早く正確に対応する検知機能を指す。

では、この動体認知という機能から何が分かるのか。次の項目で紹介する。



### 動体認知で何が分かる？

前項にて、動体認知とは「不規則に出現したり変化したり」

### 動体認知で何が分かる？

する指標に対し素早く正確に対応する検知機能」であると述べたが、この検知機能は日常の交通行動をとる上でも非常に重要な機能であると言える。

前号では、自転車等の運転中に携帯電話を使用することの危険性を検証するため、動体認知診断という機器を使用して実験を行った。

	通常	通話中	
追跡課題の結果	B (98%)	▲4%	C (94%)
正しい反応	98%	▲16%	82%
遅れ傾向	40%	▲1.9倍	76%
見落とし傾向	2%	▲9倍	18%
誤り反応	1%	▲2倍	2%
突発課題の結果	A (100%)	▲13%	D (87%)
正しい反応	100%	▲24%	76%
遅れ傾向	2%	▲1.7倍	35%
見落とし傾向	0%	▲2.4倍	24%
誤り反応	0%	▲7倍	7%

図1：動体認知診断を使用した実験の結果

通常通り検査を受けた場合と携帯電話で通話を行っている状態で検査を受けた場合とでは、明らかに通話中の結果に低下

が見られる結果となった。詳しく結果を見ると、特に遅れ傾向・見落とし傾向に著しい低下が見られる。ターゲットの変化への反応の遅れや見落としは、実際の道路上においては交通事故にもつながる危険なミスであると言える。

### 動体認知診断

(ダイナミック・ビジランス・チェッカー)



動体認知診断 (ダイナミック・ビジランス・チェッカー)

動体視力計では、検査の結果は視力値、そしてその値に対して5段階の評価が表示される。動体認知診断では、5段階の総合評価に加え、「追跡課題」「突発課題」2つの検査それぞれについても5段階の評価を確認できる。

そして、課題ごとに

- ①正しい反応
- ②遅れ傾向
- ③見落とし
- ④見誤り

が数値化され詳細なデータも分かるようになってきている。

さらに突発課題では部位別動体認知率が出力され、前方のどの部位(左右・上下)が認知できていなかったかを知ることができる。(図3)

### 部位別動体認知率

97%	100%	86%△
100%	93%	60%×
100%	100%	66%×

図3：部位別動体認知率 認知できていなかった場所の数値が下がっている。

遅れ・見落としはほとんど無いが、誤りが多い。

	正しい反応	遅れ傾向	見落とし傾向	誤り反応
反応数	45回	6回	0回	32回
率	100%	13%	0%	36%
注意		△		×
全体的平均	90.2%	16.8%	9.8%	3.2%
同年代の平均	98.1%	2.9%	1.9%	2.3%

図4：課題ごとの詳細なデータ 「正しい反応」「遅れ傾向」など、詳細なデータを知ることができるので被験者の弱点に合わせたアドバイスができる。



今回は、中国山脈横断100キロウォークに挑戦しました、竹原健二をご紹介します。



### 最近ハマっていること

ダーツです。まだあまり上手くはないですが、月に1回はやっていきます。上達してかわいい女の子のハートも射止めたいです!?

### 学生時代

中学・大学では軟式テニス、高校では陸上(短距離)もやっていました。スポーツを通して学んだこと

学生時代は、部活やサークルにも熱心に取り組みました。勉強だけでは得られないスポーツならではの一体感・熱・気持ちの高ぶりを感ぜられました。また、皆で一つの目標に向かって行動する事で人と人の繋がりが深く、密度の高いものになりました。

### 中国山脈横断100キロウォーク

今回、私は初参加だったので、未知の体験への期待と不安が混ざり合った気持ちでスタートしました。最初の20kmは、普段の生活ではなかなか触れることができない自然を感じながらの気持ちの良いウォーキングでした。

ところが、25km地点を超えた辺りから天候が崩れ、同じ頃から足裏の水ぶくれや豆が痛み、歩く度に痛み始めました。そして40km歩くと頃には、休憩しながらでないと前に進めない状態になっていました。

途中、折返し地点で参加者同士がすれ違えるポイントでは、声を掛け合い沢山の方から元気を貰いました。中間地点の50km地点で、全く足が上がらなくなってしまう、悔しいですがここでリタイアを決定しました。リタイアした後、最後まで歩き続けた方がゴールする瞬間の顔を見ると、なぜあそこ自分の姿がないのだろう、と、悔しい気持ちで一杯でした。

また、悔しさと共に、100km

という距離に対する自分の考えの甘さ、準備不足を強く感じました。今の私には50kmという距離が壁になっているので、次回参加する際には、準備・心構えをしっかり行い、「絶対に歩きたい」という強い気持ちを持って臨みたいと思います。

### 第18回交通大学

11月17日(月)開催決定 第18回交通大学の開催日が11月17日(月)に決定いたしました。

今回は「交通社会におけるリスクマネジメントを考える」をテーマに、交通・健康・道路環境・企業や地域のリスク回避教育などの課題に迫ります。日程・講座の詳細につきましては決まり次第、チラシ・弊社HP等でご案内いたします。多くの方のご参加をお待ちしております。

■予定講師 敬称略・順不同  
樋口進

(久里浜医療センター)院長

竹内昌彦

(岡山県立岡山盲学校)講師

橋本成仁

(岡山大学)大学院

環境生命科学研究所 准教授

吉村修一

(フラインモーター)スクール

品質保証部開発チーム チーフ

### 編集後記

私達の視覚機能は、一般的に40歳を過ぎる頃から徐々に衰えていきます。しかし、自分の視覚の弱点を把握しておくことで、事故を防ぐことができます。もしもの事が起きる前に、弱点を把握しておくようにしましょう。次号は「視野」について紹介いたします。

### 各記事中の参考資料について

※1 「動体認知」測定法の開発  
―その原理と方法の検討―  
(金光義弘先生)より